

事業趣旨

小・中・高等学校等における生徒指導上の諸課題の未然防止のため、学校教育活動全体を通じ、関係法令の下、学習指導要領及び生徒指導提要の趣旨が実現するよう、委託地域における実証的な調査研究を実施（令和5～7年度、11地域）。

事業内容

最終目標



学校の「魅力」（Well-being）の向上 → 生徒指導上の諸課題の未然防止

- 「実践上の四つの視点」
 - 「居場所づくり」・「絆（きずな）づくり」
- 「学校教育活動全体」での推進

<成果指標（例）>・・・テーマごとに最適な測定の内り方について検討
 児童生徒の意識調査（4項目）、いじめ・暴力行為の被害・加害体験、不登校の新規発生数
 学校環境に関する意識（学校とのつながり、安心・安全感 等）
 学びの目的意識、社会的資質・行動 等

教育実践・評価（データ収集・分析を含む）へのICTの積極活用

達成のための手立て

学習指導  **こどもの発達を支える生徒指導** = 発達支持的生徒指導 + 課題予防的生徒指導（課題未然防止教育）

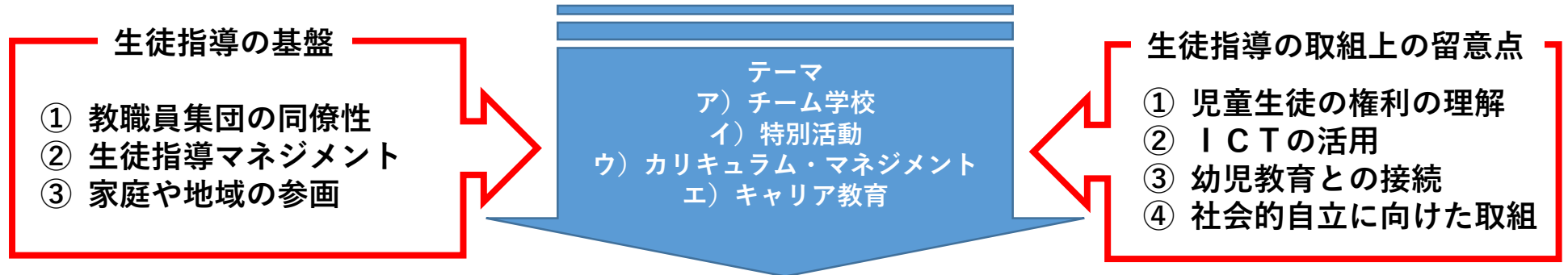
- 【こどもの発達を支える生徒指導の有効性を高めるための実証的研究テーマ】
- ア) 多様で開かれた生徒指導の推進（「チーム学校」との関連）
 - イ) 児童生徒の主体的参画等、生徒指導との関連を意識した特別活動の充実（「特別活動」との関連）
 - ウ) 生徒指導との関連を意識したカリキュラム・マネジメントの推進（「カリキュラム・マネジメント」との関連）
 - エ) キャリア教育と関連した生徒指導の推進（「キャリア教育」との関連）

「学習指導と生徒指導の一体化」を軸に、学校の「魅力」を高める

「生徒指導提要（改訂版）」が求める生徒指導実践

リアクティブな個に応じた支援や課題早期発見・対応の更なる充実を図りつつ、**プロアクティブな発達支持的生徒指導及び課題未然防止教育を推進する。**

全ての教育活動で2軸3類4層構造に基づく切れ目のない実践



生徒指導の充実

児童生徒が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう、児童生徒理解を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図ること。（学習指導要領「総則」）

生徒指導上の諸課題の解決・学校教育の目的の達成